



2026 年 10 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社デンソー
代表者名 取締役社長 林 新之助
(コード番号 6902 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 経理部長 荒井 是
(TEL. 0566-25-5511)

スパークプラグおよび排気センサー事業の譲渡の中止に関するお知らせ

当社は、日本特殊陶業株式会社（以下「日本特殊陶業」といいます。）との間で 2025 年 9 月 1 日に締結したスパークプラグおよび排気センサー（O2 センサー・空燃比（A/F）センサー）事業に関する事業譲渡契約（以下「本契約」といいます。）について、市場環境の変化を踏まえて事業戦略を再検討した結果、日本特殊陶業に対し本契約の解約を申し入れました。その後、両社で真摯に協議を重ねた結果、本契約に基づく事業譲渡の実行を中止することで合意いたしました。これに伴い、両社は本契約を解約する旨の合意書を締結することを決定いたしました。

両社は、カーボンニュートラル社会の実現に向けた電動車のさらなる普及や、地域・国ごとに異なるエネルギー事情への対応に向けパワートレインの多様化が進む中、各技術領域における製品進化と、市場規模に応じた持続可能な供給体制の構築が自動車業界共通の課題であるとの認識のもと、2023 年 7 月よりスパークプラグおよび排気センサー（O2 センサー・空燃比（A/F）センサー）事業に関する事業譲渡の検討開始の基本合意書を締結し、2025 年 9 月には本契約を締結しました。そして、両社が長年培ってきた技術力やモノづくりの強みを融合し、内燃機関関連製品の競争力向上と安定供給の実現を目指して検討を進めてきました。

一方で、その後の市場環境は当初の想定から変化しており、電動化は着実に進展する中においても、地域ごとに異なるエネルギー事情および規制環境を背景に、多様なパワートレインに対する需要が当初想定より長期にわたり継続している状況です。

こうした環境変化を踏まえ、当社は、中期経営計画 CORE 2030 で掲げる、モビリティの多様化を支える商品づくり・システムの提供という観点から改めて事業戦略を検証しました。その結果、当事業を継続することが、多様化するモビリティニーズへの対応力を維持・強化するうえで最適であると判断し、日本特殊陶業へ事業譲渡契約の解約を申し入れました。その後、当事業の譲渡方針の変更について説明し、両社で真摯に協議を重ねた結果、本契約に基づく事業譲渡の実行を中止することで合意いたしました。

当社は今後も、市場やお客さまのニーズ変化に柔軟に対応しながら、持続可能なモビリティ社会の実現と自動車産業の発展に貢献してまいります。

以上